

菅原神社と天神松



川之江町大門

平安時代、菅原道真公が九州に流される途中、川之江に立ち寄ったと伝えられている。

大門のコミュニティーセンターのとなりに天神松と言われる松がある。ここは、平安時代菅原道真が九州へ流される途中、船を着けたところ伝えられてる。当時、この付近は入り江であったとも言われている。天神松は枯れるたびに植えつがれ菅原公ゆかりの松として大切にされている。

その後、菅原道真公を偲んで、菅原神社が建てられ、今なお、大門の天神さんとして信仰を集めている。